



障害者支援制度に当事者の声を

10月29日 18時10分 [twitterでつぶやく](#)

障害者支援の新たな制度作りが進められているなか、全国の障害者団体が東京で集会を開き、制度に当事者の声を十分反映させるよう訴えました。

この集会は、全国の障害者団体でつくる「日本障害者協議会」などが開いたもので、会場の東京・千代田区の日比谷公園には、障害者やその家族などあわせておよそ1万人が集まりました。障害者の支援制度をめぐる、国は、福祉サービスに原則1割の自己負担が必要な今の障害者自立支援法を廃止し、3年後までに新たな法律を制定する方針を示しています。集会では、新たな制度を議論するために国が設けた検討会のこれまでの経過が説明されました。そして、サービスの利用負担は経済状況や生活の実態を踏まえたものにすることや、障害の対象を発達障害や難病などにも広げることなどを盛り込んだアピールが採択され、主催者が「当事者の声を十分反映した法律にしてほしい」と訴えました。このあと参加者たちは、横断幕や旗などを掲げて「わたしたちの手で新しい法律を作ろう」などと訴えながら東京都心を練り歩きました。

主要ニュース

- ・ TPP 政府方針は9日決定へ **NEW**
- ・ “為替 一方的に偏った動き” **NEW**
- ・ 連合集会 ベア望む意見相次ぐ **NEW**
- ・ ジャイアンツ 56年ぶり優勝 **NEW**
- ・ 鳩山前首相 日口首脳会談で議論を
- ・ 男女グループ 全員の無事確認
- ・ 岩隈選手 大リーグの入札開始

[▶ NHKニューストップへ](#)

[関連ニュース]

自動検索

- ・ 障害者の法定雇用率 達成は47%

ご意見・お問い合わせ | [NHKにおける個人情報保護について](#) | [放送番組と著作権](#) | [NHK オンライン利用上の注意](#)

Copyright NHK (Japan Broadcasting Corporation) All rights reserved. 許可なく転載することを禁じます。